

洪道場 白黒さんぽ



第三回

一力 遼 八段

五藤真奈 初段

2019年4月20日 白黒さんぽ3回目

目次

- 1 一力遼八段の紹介
- 2 一力八段が選んだ心の一局 第1～2譜
- 3 一力八段が選んだ心の一局 第3～4譜
- 4 心の一局のハイライト
- 5 一力八段の追憶の一局
- 6 五藤真奈初段の紹介
- 7 五藤初段が選んだ心の一局 第1～2譜
- 8 五藤初段が選んだ心の一局 第3譜
- 9 心の一局のハイライト

※ 参加棋士の段位は2019年当時のものです。

※ ご挨拶の文面などはイベント当日と同じにしています。

一力 遼八段 (イチリキ リョウ)

1997年6月10日生 宮城県出身 宋 光復九段門下

2010年 入段

2012年 中野杯 優勝 (初タイトル) (二段昇段)

2013年 おかげ杯 優勝 (三段昇段)

2013年 第8回広島アルミ杯若鯉戦 優勝

2013年 棋道賞新人賞・勝率第1位賞

2014年 棋聖戦リーグ入り (16歳9ヶ月最年少記録)
四段⇒七段昇格

2014年 グロービス杯世界囲碁U-20 優勝

2014年 おかげ杯 優勝 (2度目)

2014年 新人王戦優勝 (17歳3ヶ月最年少記録)

2014年 イベロジャパン杯 優勝

2014年 棋道賞国際賞

2015年 本因坊戦リーグ入り

2015年 棋道賞国際賞

2016年 おかげ杯優勝 (3度目)

2016年 竜星戦 優勝

2016年 天元戦挑戦者

2016年 広島アルミ杯・若鯉戦 優勝

2017年 グランドチャンピオン戦 優勝

2017年 王座戦挑戦者

2017年 天元戦挑戦者

2017年 棋聖戦挑戦者 (八段昇段)

2018年 竜星戦 優勝

2018年 阿含・桐山杯 優勝

2018年 王座戦挑戦者

2019年 NHK杯優勝



日本棋院東京本院所属

一力遼八段から皆さまへ

今回の「白黒さんぽ」を通じて、棋士身近に感じてもらえれば嬉しいです。
今日は、先週行われた日中韓竜星戦で柯潔さんと対戦した碁を紹介致します。
分かりやすく、楽しめるような解説にしていきますので、本日は宜しくお願い致します！

洪から遼へ

遼は道場4番目のプロ棋士です。遼は礼儀も正しかったし、とても賢い子でした。
道場に來たら何よりも元気よく挨拶 ^ - ^ 嬉しかったです。「いま何をすれば良いのか」
を常に考えている遼だったので成長が速かったと思います。私自身も遼からたくさん習
いました。遼は何でも精一杯頑張るので時々疲れるのではないかと思います。時にはゆ
っくり充電する時間も大事でしょう。世界一になってください！

心の一局

2019年4月11日

第1回日中韓竜星戦1回戦

白 一力 遼 八段

黒 柯 潔 九段

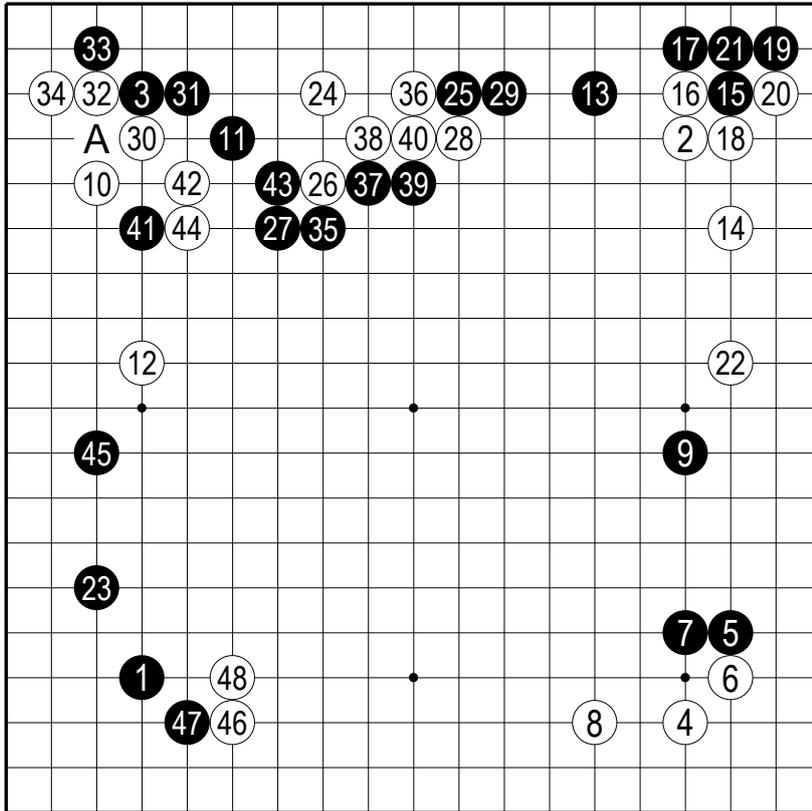
持ち時間 10分

1手30秒の秒読み

第1回日中韓竜星戦は三国の竜星が戦う新棋戦です。日本一力竜星・中国柯潔竜星・韓国金志錫竜星が参加しました。

黒25ではAなら無難。

白30では34のほうが調子を与えない意味がありました。



第1譜 (1~48)

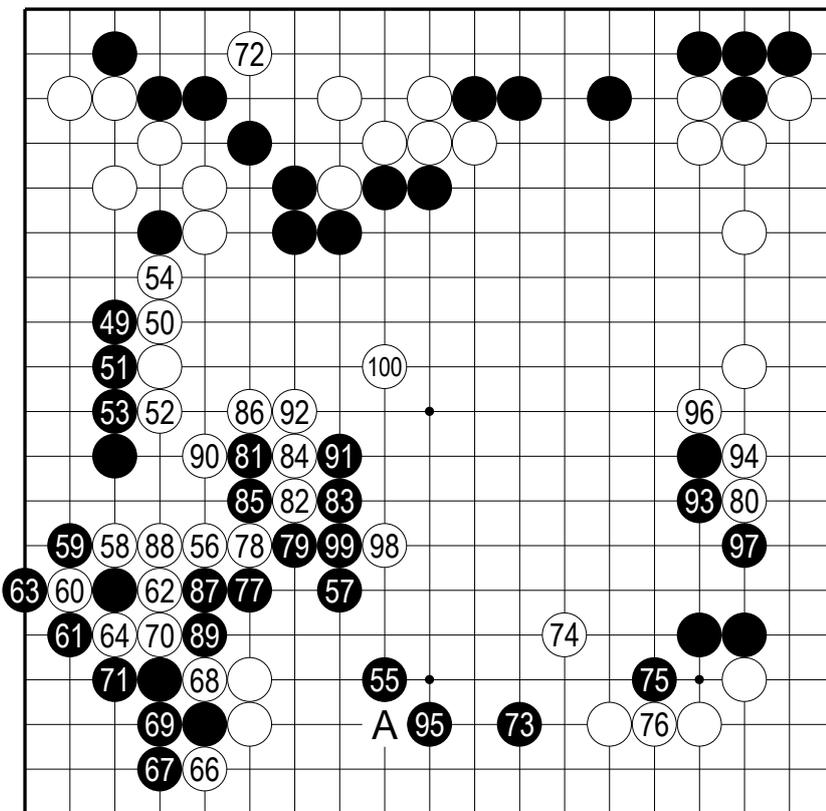
黒49の打込みはあまり得をしていないです。55に打って普通に攻めるべきでした。

黒61は62が良かったです。実戦は筋がきれいに決まり黒が辛い形です。

黒81では右边を受けているほうが自然でした。

白は94でAと下辺を生きに行くのが大きくそれなら白が打ちやすい形勢でした。実戦は黒95に回られて形勢は互角です。

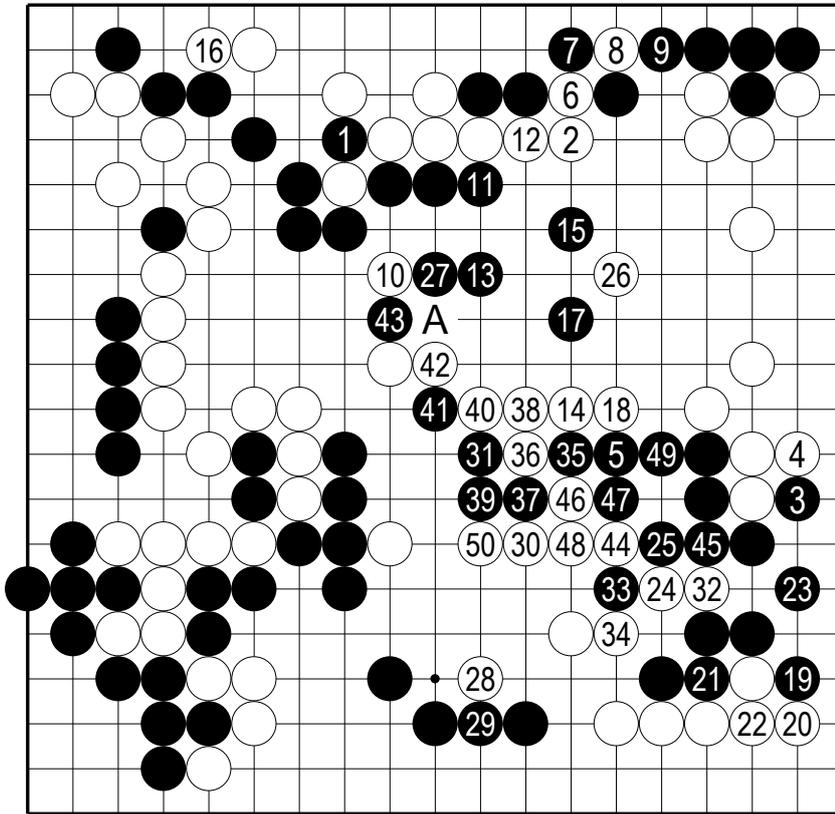
柯潔九段は現在世界最強と言われる棋士です。日本トップ棋士の一力竜星との対戦だったので、とても関心が高かったです。囲碁将棋チャンネルは18時から生放送をしていました。夕方の生放送は初めてだったようです。



第2譜 (51~100)

●65 [○60].

(洪)

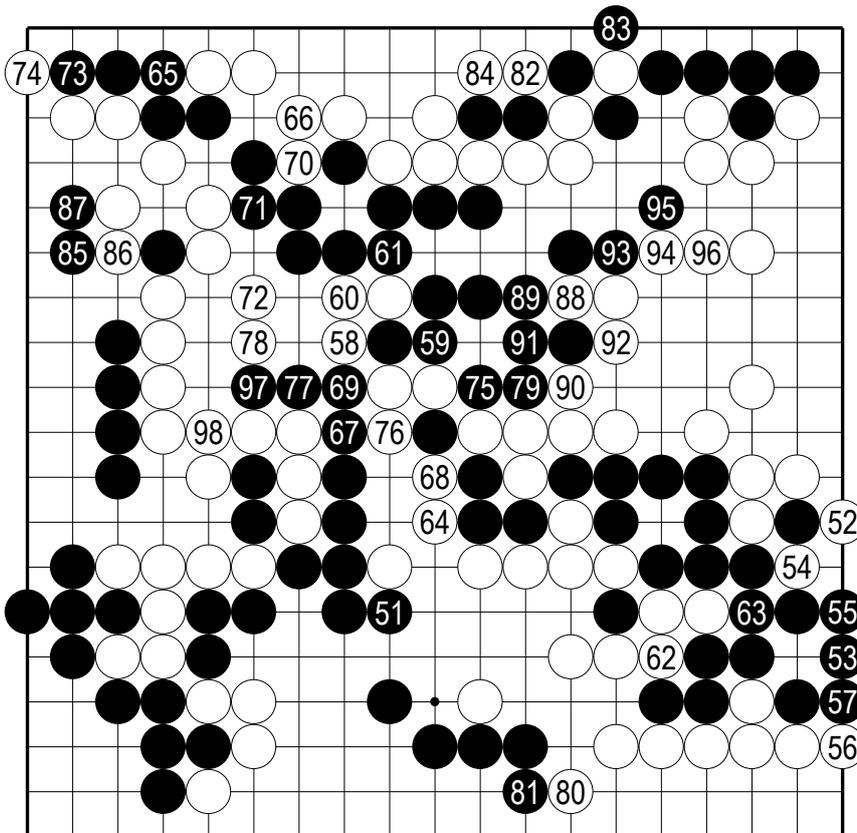


第3譜 (101~150)

黒5ではAで補強したほうが良かったです。白10、14からの攻めがとても厳しく黒が苦戦になりました。

黒19~23の生き方は辛くて48に打ち中央に出るのが良かったです。黒21も23に打つなら打ちたくない交換です。

白30の時点で、左下、右辺、上辺の黒の三方が薄くなり、ここで白の優勢が決まりました。黒31からの気合いの反発でしたが、白32からの追及がとても厳しく2眼の生きでは白の勝利です。



第4譜 (151~198)

「私は通訳のことで関係者の方々と対局を見ていましたが、遼の堂々と戦う姿が本当に良かったです。

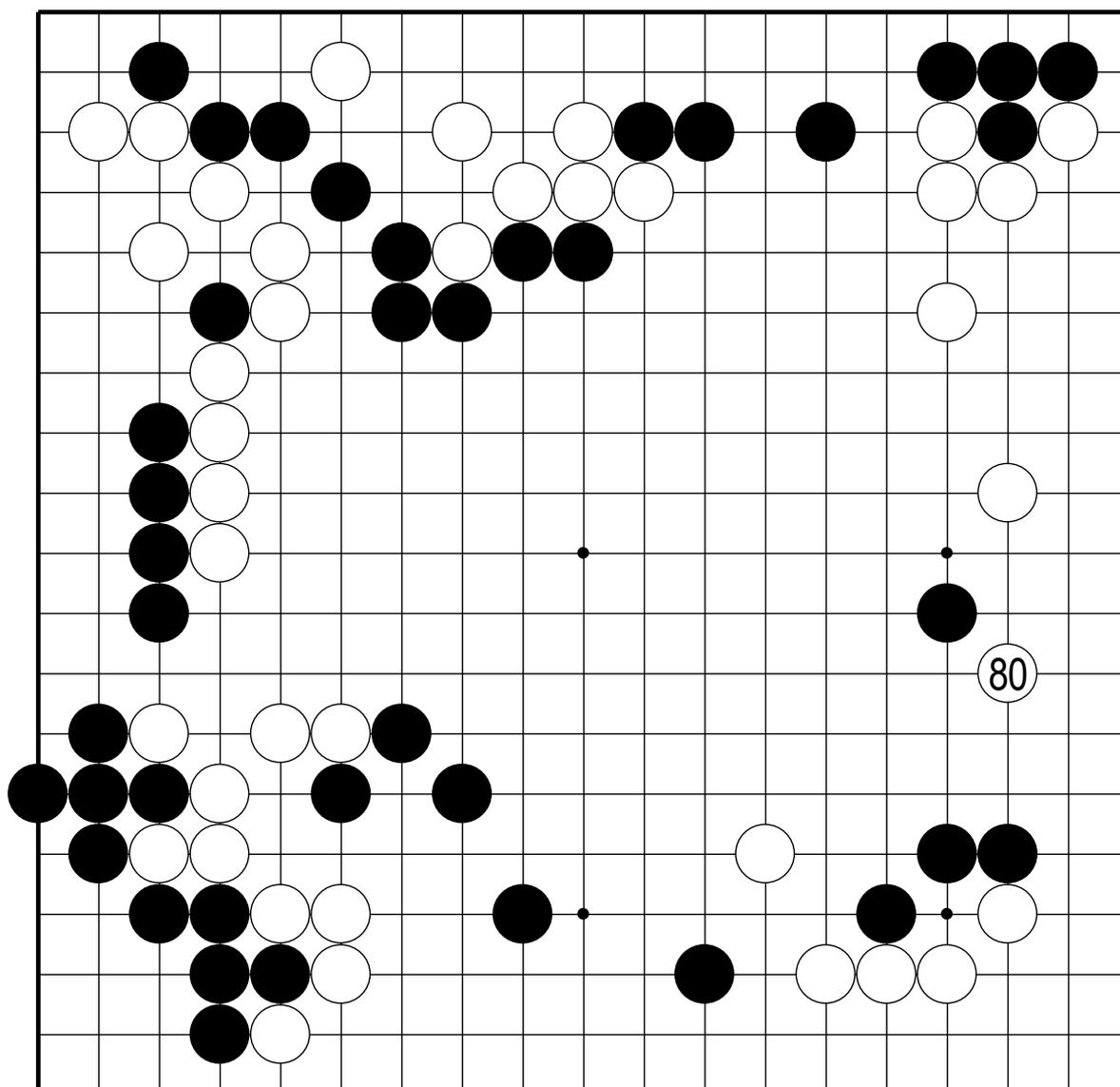
遼が小さい頃一緒に夢を聞くことができました。その夢に向かい少しも揺れず真っ直ぐ頑張る遼が素晴らしいと思います。

時には辛い時もあると思いますが一步一步進みましょう。夢が叶えるまであと少しだと感じました。日本を代表する棋士としてこれからも精一杯戦って欲しいです。皆さま、遼のことどうぞ宜しくお願い致します」

「」は洪のコメント

【ハイライト】

白80手目 (第2譜参照)



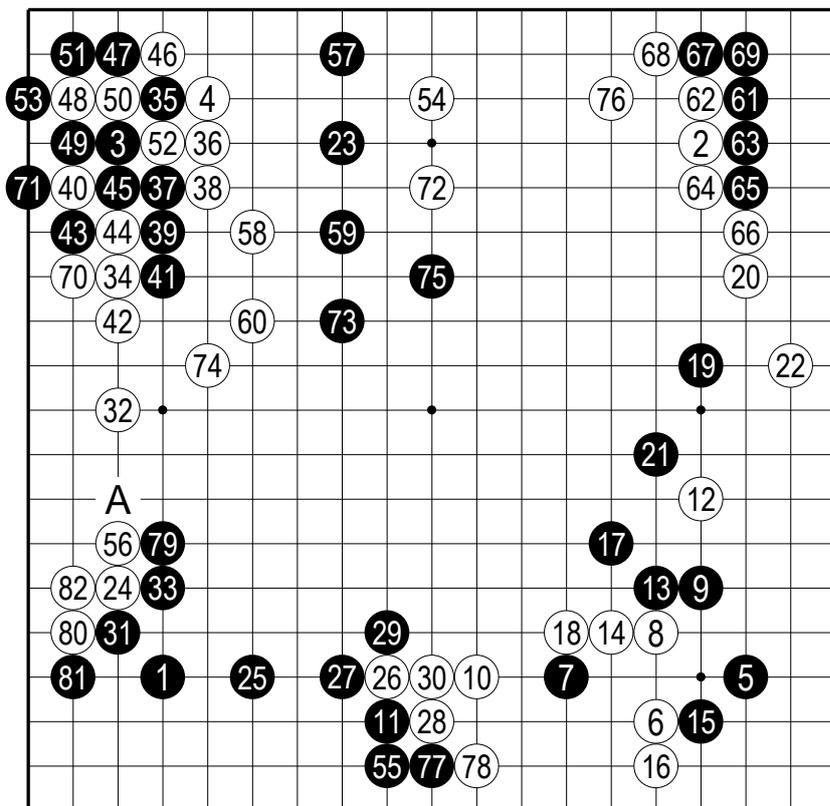
遼のここからの攻めがとても良かったです。早碁はいろんなことが起きますが、この手から柯潔九段が揺れたのではないかなと思います。

「平常心」「無心」勝負をするといつも考える言葉です。対局が始まり終わるまで無数に自分と話をします。自分を信じると勝てますが、疑いましたらそれは上手くいかないですね。遼は若いのもっと成長すると思います。自分を信じてこれからも精一杯戦ってください！

(洪)

【付録】 追憶の一局

お時間がある時に並べてみてください



第1譜 (1~82)

2010年3月28日
院生研修

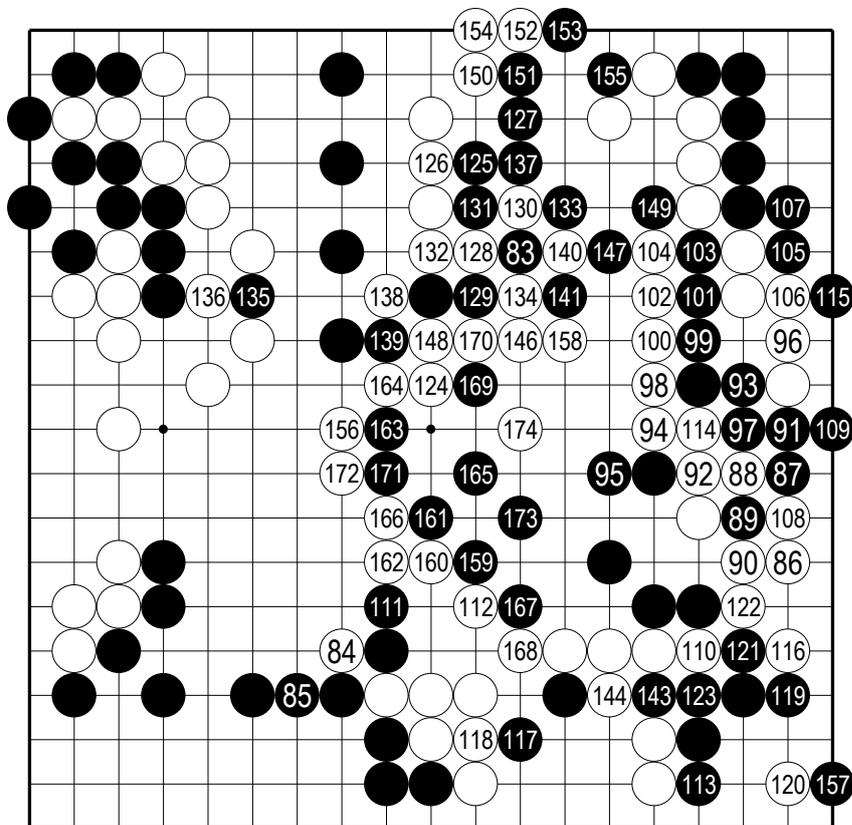
白 一力 遼 院生
黒 横塚 力 院生

白中押し勝ち

【当時の一カメモ】

黒 33 では 82 の下ハネが普通。左上のワカレは白も打てる。黒 55 では A も大きかった。白は右边 5 子を捨てて中央が厚くなったが、108 と 109 はコウの味をみて打たない方が良かった。

最後は右下がコウになったが、中央の黒を取った。



142 145 ko at 130.

第2譜 (83~174) 白中押し勝ち

「道場には遼が書いていた棋譜ノートがあります。

時々懐かしく読んだりしています。棋譜だけではなく感想まで書くこの姿勢がとても大事だと感じました。自分のことをちゃんと見つめて分かっていたからこそ、今の遼がいると私は思います。こういった積み重ねが大事ですね」

「 洪のコメント

五藤 眞奈 (ゴトウ マナ)

2001年12月13日 東京都出身

2018年 入段

日本棋院東京本院所属



五藤眞奈初段から皆さまへ

本日は皆様にお会いできて大変嬉しく思います。足をお運びくださりまして心より御礼申し上げます。私は4月1日付けで正式にプロ棋士になりました。その点では既にプロ棋士として実績のある一力先生とは正反対ではございますが、対照的な面白さを感じて頂ければ幸いです。日本棋院の院生になったのは小学校6年生の4月からで、平成29年度の冬季プロ試験で8勝7敗の勝ち越しで推薦入段が決まりました。プロ試験を過ごすには気力と実力、運の3つが必要です。私は通常の院生研修でもプロ試験でも、その朝家を出るまでに母に注意されて口答えすると必ず負けます。なので失敗もありましたが口答えしないようプロ試験中はその点も疲れしました。(笑) これからの目標ですがまずはNHK杯に出れるようになりたいです。そして母や洪先生全国の皆様に見て頂けるような碁を打てたらと思います。最終的にはNHK杯優勝するぞ！と言いたいのですが、隣にホンモノのNHK杯優勝者がいらっしゃるので本日はここまでいたします。(笑) 最後に洪道場をこれからもよろしく願いたします。

洪から眞奈へ

眞奈は道場18番目の棋士です。良い所はいろいろありますが、毎日黙々と頑張る所が特に私は好きです。どんな仕事もそうですが、楽にしようとしなくて真剣に臨む姿勢がある人が結局成功する気がします。いろいろ足りない所もあって眞奈は一番叱られた道場生の一人でもあります。でもそれにへこまず改善しようとする、そして頑張っていこうとするのを見て嬉しく思います。これから世の中に出て社会人として生きて行きます。いろいろ不安もありますが眞奈のことを信じています。自分の長所と短所を把握して人々の話を聞く、人々のために役に立つ、そして生きようとすればきっと少しずつですが、上手く行くと思います。心いっぱい応援しております。

心の一局

2019年3月30日
新初段公開対局・解説会

白 辻 華 初段
黒 五藤真奈 初段

持ち時間 3分
1手 20秒の秒読み

1手20秒で1分3回の考慮時間での早碁ということもあり、打ち慣れている「星・小目」を使いました。

しかしわずか4手目でカカられてしまい違う碁になってしまいました。

黒7ではAの方が打ちやすかったです。私は早碁が苦手なので潰れないようにゆっくりした碁を打つ事を自覚していました。

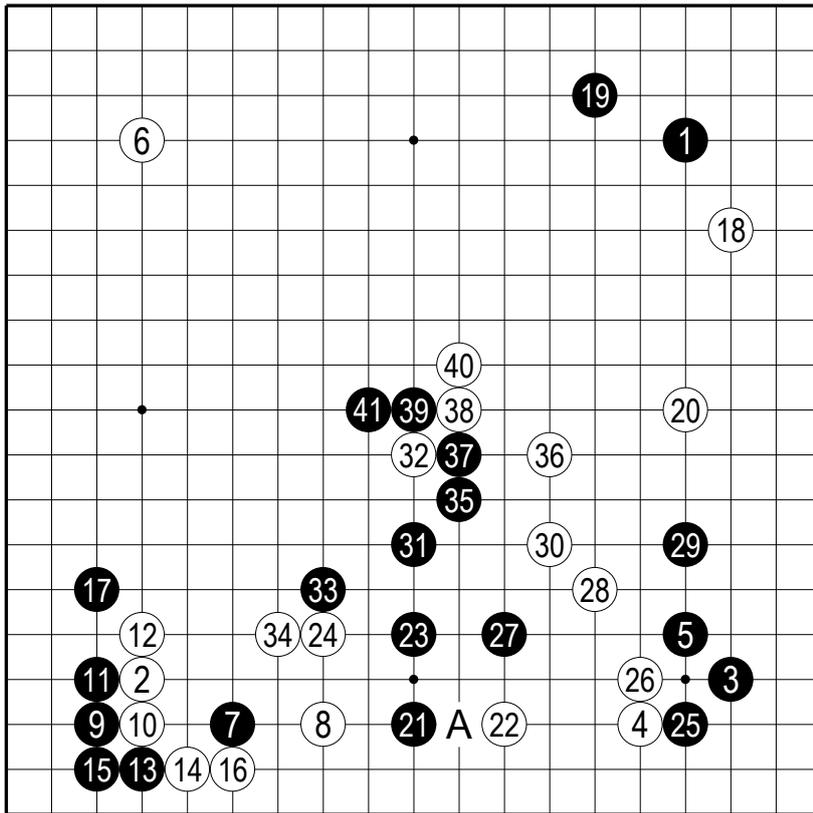
今回はこの戦略が勝ちにつながったと思います。

黒33は様子を見た手ですね。黒41までとても良い勝負だと思います。

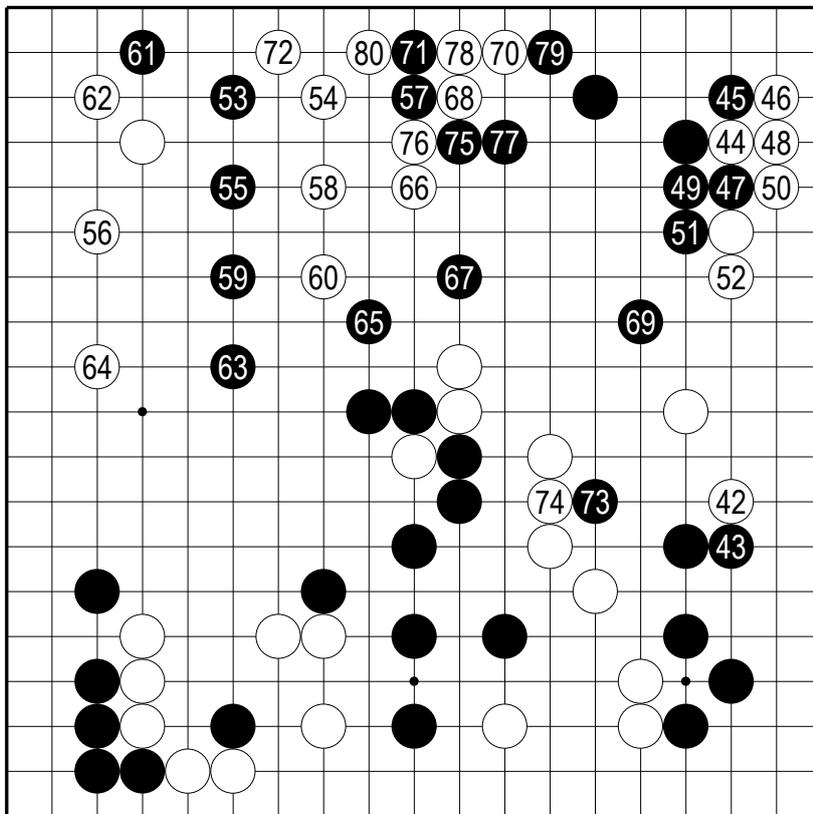
白64まで白地が多く形勢不利だと思いました。上辺の白3子を特に攻めなければと思い黒65・67で白を攻め始めました。

黒69は思わず直感的に打った手でこの時点でその後の展開は考えてませんでした。白は70で78に守るのが良かったです。

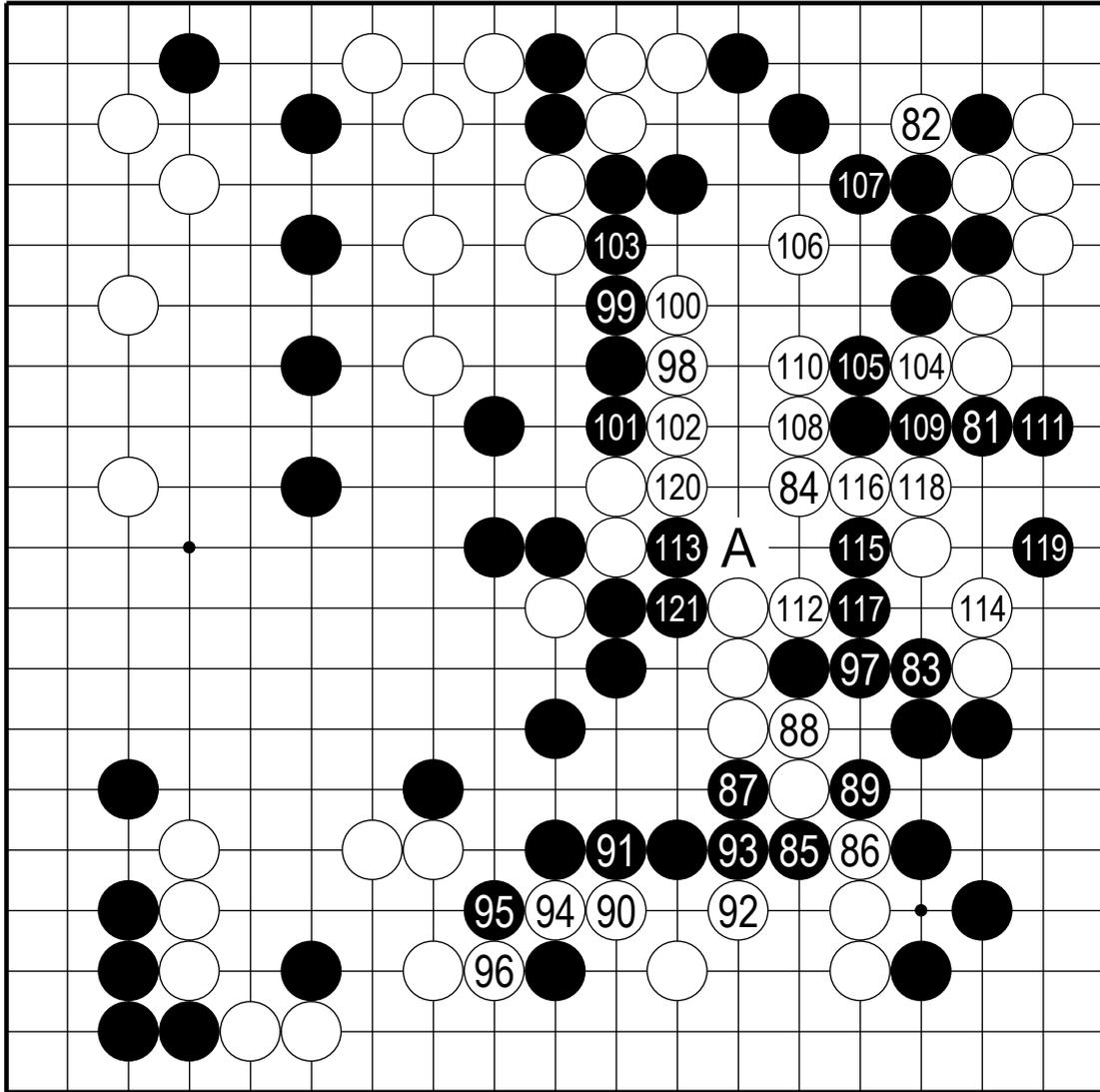
実戦では黒の捨石作戦が上手く出来たと思います。これで外側が厚くなり良い勝負になった気がします。



第1譜 (1~41)



第2譜 (41~80)



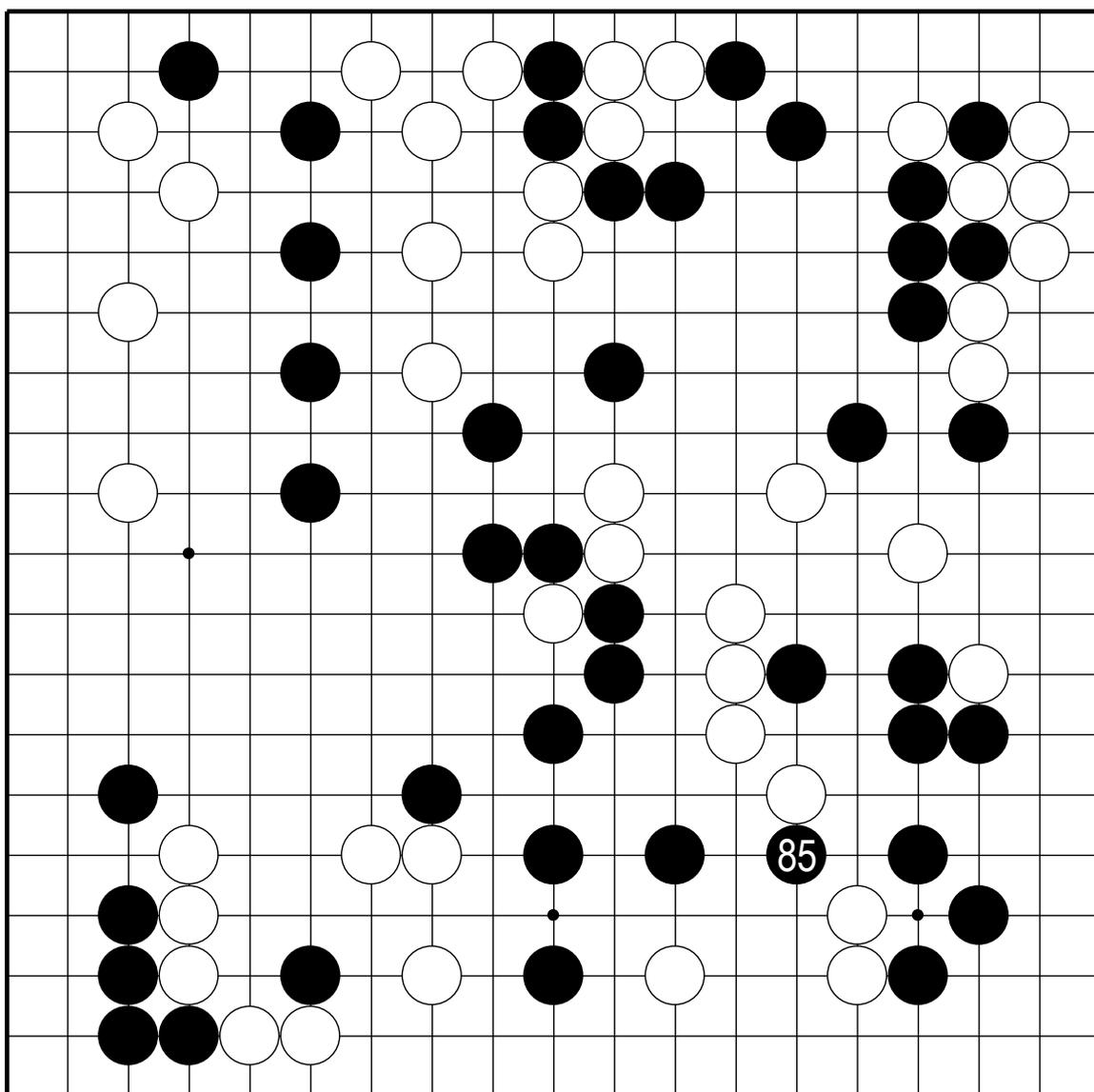
第3譜（81～121） 黒中押し勝ち

白84は92に打つのが正しかったです。黒85～89で分断出来ては黒が一気にリードした気がします。黒97で白は眼を作るのが厳しくなりました。黒97で102も考えられますが、白97に打たれてしまうのでココは急所だと思いました。黒99は100にハネてもっと強く攻めるべきでした。少し緩くなり白104・106・108を打たれて112手になった時は白が小さく活きる形になりました。白114はAで生きる一手でしたが黒115に打たれては大石が取れて黒勝利になりました。

初めての公開対局でとても緊張しました。良い結果となりとても嬉しかったです。これからも精一杯努力していきます！

（五藤真奈）

【ハイライト】 黒 85 (第三譜参照)



黒のこの一手からの反撃が良かったです。眞奈はじっくり守りの碁が多いですが怒る時は怒りますね（笑）どんなこともそうですがやる時はとことんやるのが大事だと思います。眞奈は積極的になるのがこれからの成長のカギです。いつも積極的に自分の力と行動に自信を持てるように毎日の勉強が大事です。頑張りましょう！

（洪）

洪道場の教え③「**時間を残して負けるのは勝負師として失格であること**」

※ 教えはほとんど私の失敗から学んだことを書いています。特にこの言葉は
勝負に対しての志、姿勢、覚悟を表すので自分によく言い聞かせている言葉です。
(洪)